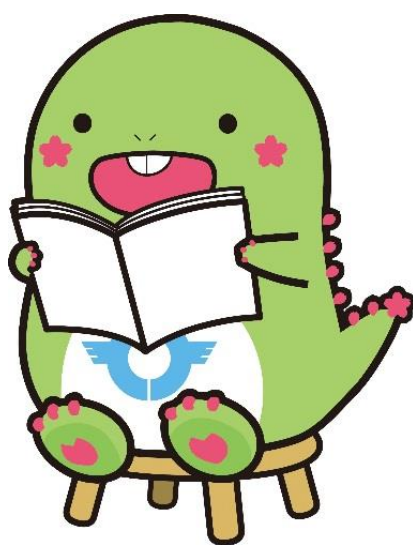


東 金 市
子どもの読書活動推進計画
(第2次)



令和5(2023)年3月

東金市教育委員会

目 次

第1章 第2次推進計画策定にあたって	-1-
1. 子どもの読書活動の意義	-1-
2. 子どもの読書活動推進計画の背景	-1-
3. 子どもの読書活動の現状と課題	-2-
(1) アンケート調査の概要	-2-
(2) 現状と課題	-15-
第2章 第2次推進計画における取り組み	
1. 計画の基本方針	-16-
2. 計画の期間及び対象	-17-
3. SDGsへの取り組み	-17-
4. 感染症等への対応	-18-
5. 計画の位置づけ	-18-
6. 子どもの読書活動推進のための具体的な取り組み	-19-
7. 計画の実現に向けて	-23-

第1章 第2次推進計画策定にあたって

1. 子どもの読書活動の意義

子どもの読書活動の推進に関する法律（平成13年法律第154号）第2条の基本理念では、「子どもの読書活動は、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、これからの人生を深く生きる力を身につけていく上で欠くことのできないもの」と規定しており、子どもの成長に非常に重要であることが明記されています。

子どもの読書に関する発達状況の特徴として、「乳幼児期では、絵本や物語を読んでもらうこと等を通じて絵本や物語に興味を示すようになり、様々な体験を通じてイメージや言葉を豊かにしながら、絵本や物語の世界を楽しむようになる。」「小学生低学年の時期には、一人で本を読むようになり、語彙の量が増え、文字で表された場面や情景をイメージするようになる。」「高学年になると本の選択ができ始め、好みの本の傾向が現れるとともに読書の幅が広がり始める。」「中学生の時期には、多読の傾向は減少し、共感したり、感動したりできる本を選んで読むようになり、高校生の時期には、知的興味に応じ、一層幅広く多様な読書ができるようになる。」という傾向があるとされています。（H30.3 子どもの読書活動推進に関する有識者会議論点まとめより引用）

このように子どもの読書活動は、成長する時期に合わせて様々な読書財と接することなどにより、言葉の理解度や表現力の向上に繋がるとともに、想像力や豊かな人間性を育む、大変重要なものと考えられます。

2. 子どもの読書活動推進計画の背景

「子どもの読書活動の推進に関する法律」（平成13年法律第154号。以下「推進法」という。）は、子どもの読書活動の推進に関し、基本理念を定め、国と地方公共団体の責務を明らかにし、国が「子供の読書活動の推進に関する基本的な計画」（以下「基本計画」という。）を策定して公表すること、4月23日を「子ども読書の日」とすることなどを定め、子どもの読書活動の推進に関する施策を総合的かつ計画的に推進し、子どもの健やかな成長に資することを目的としています。

推進法に基づく基本計画は、平成30年4月に第四次計画が公表され、第三次計画における実績、課題等も踏まえた今後の方向性として、国、県、市町村が子どもの実態やそれを取り巻く状況の変化を踏まえ、取組の充実・促進を図ることが望まれるとされています。そして、次期計画に向けた令和4年度の有識者会議による検討事項としては、「発達段階に応じた読書習慣の形成」「高校生が読書をするようになるようなきっかけづくり」「読書とICT（情報通信技術）のベストミックス」などを掲げて、検討を進めています。

千葉県では、令和2年2月に「千葉県子どもの読書活動推進計画（第四次）」を策定し、その中の基本方針として、社会全体における子どもの読書への関心を高める取り組みの推進、読書環境の整備と連携体制の構築のための具体的な取り組みを掲げています。

東金市では、平成30年度から令和4年度までの5年間を計画期間とする東金市子どもの読書活動推進計画を策定し、子どもの読書活動に関する取り組みを総合的、計画的に推進してまいりました。

今後は、令和3年度からの東金市第4次総合計画、第2期東金市教育振興基本計画と整合を図ったうえで、令和5年度を初年度とする新たな子どもの読書活動推進計画を策定し、東金市における子どもの読書活動に係る事業を効果的に推進してまいります。

3. 子どもの読書活動の現状と課題

東金市教育委員会では、市内各小中学校、保育所、幼稚園、児童館と市内各小・中学生を対象にアンケートを行ったうえで、東金市の子どもの読書活動の現状と課題を分析し、本計画の方針を定めることとしました。

(1) アンケート調査の概要

① 調査の目的

市内の子どもの読書に関する現状を把握するために実施し、東金市子どもの読書活動推進計画策定に係る参考資料とすることを目的としました。

② 調査の種類と対象

- I. 学校図書室及び読書活動に係るアンケート…市内各小中学校
- II. 児童施設等の読書活動に係るアンケート…保育所・幼稚園・こども園・児童館（私立は除く）
- III. 子どもの読書に関するアンケート…市内各小中学校児童生徒

	配布数（人）	回収数（人）	回収率（％）
小学生	2,518	2,319	92.1
中学生	1,321	1,056	79.9
合計	3,839	3,375	87.9

③ 調査の期間

令和4（2022）年6月1日時点

I. 学校図書室及び読書活動に係るアンケートの結果

学校名	令和3年度学校図書室について					東金図書館との連携に関する要望 ①資料の貸出 ②学校への訪問 ③図書館見学・職場体験	図書ボランティア活用状況 ①配架や貸出等サービス支援 ②図書室整備に係る支援 ③読み聞かせ等読書活動支援
	年度末蔵書冊数	図書標準達成状況	月平均開館日数	年間貸出数	読書活動取組状況		
東小学校	14,288冊	124.0%	12日	3,484冊	・全校児童が行う朝読書(毎朝10分間実施)	①団体貸出を申し込んだ際、本の貸出、返却の運搬があると助かる ②本の配架、選書、除籍、整備のアドバイスを受けたい ③移動手段等が解決できれば見学に行ってみたい	①新着図書、おすすめ本の配架、展示 ②季節の掲示物の作成 ③毎週火曜日に読み聞かせを実施
鶺鴒小学校	10,077冊	92.0%	13日	1,983冊	・「学年×300ページ」の目標を立て読書貯金を実施 ・朝の読書タイム	①国語での調べ学習に使用できる本が多く借りられると助かる	①フィルムの装備や本の修繕及び配架 ②本棚の修繕、読書しやすいスペース作り ③読み聞かせを年間16回実施(低学年4回、高学年4回)
城西小学校	13,582冊	136.0%	15日	未集計	・朝読、読書貯金、並行読書、読み聞かせなど	①学級文庫用に団体貸出を利用している ②図書室の整備をお願いしたい ③見学を受けてもらえるならば実施したい	③1学期については1~3年生を対象に読み聞かせを実施
丘山小学校	5,189冊	93.3%	10日	518冊	・10分間の朝読書 ・火、金曜日の昼休みに図書委員による貸出	②長期休業中に図書室を見てもらいアドバイスをお願いしたい ③見学を受けてもらえるならば実施したい	③朝読書の時間に読み聞かせを実施
正気小学校	6,727冊	76.0%	10日	100冊	・週3日程度、昼休みに本の貸出 ・低学年に移動図書館	①学年で使える冊数の貸出を受けてもらえるとう助かる ②蔵書の管理、点検の方法伝達をして欲しい ③移動手段等が解決できれば見学に行ってみたい	③読み聞かせを実施

学校名	令和3年度学校図書室について					東金図書館との連携に関する要望 ①資料の貸出 ②学校への訪問 ③図書館見学・職場体験	図書ボランティア活用状況 ①配架や貸出等サービス支援 ②図書室整備に係る支援 ③読み聞かせ等読書活動支援
	年度末蔵書冊数	図書標準達成状況	月平均開館日数	年間貸出数	読書活動取組状況		
豊成小学校	7,620冊	109.0%	10日	50冊	・朝のドリルタイム後に読書を実施	②新しい本の登録と修理について	③月1～2回程度のPTA等による読み聞かせ
福岡小学校	6,477冊	107.2%	8日	108冊	・PTA役員による読み聞かせ		②PTA役員による本の修理 ③PTA役員による読み聞かせ
日吉台小学校	12,722冊	152.0%	2日	750冊	・図書室は常にオープンとなっており、図書室以外にも校内3カ所の広場に分野別の本棚を設置。 (自由に本を取って読める環境)	②活用のタイミングがわからない ③機会があれば行いたい	②父母会による各学期1回ずつ1時間程度の本の整理 ③朝の活動時に読み聞かせを実施(毎週水・金曜日、2学年ずつ)
東金中学校	32,427冊	266.0%	0日	0冊	・令和3年度は図書室を開放せず、学級貸出のみ実施	②配架の直しを手伝って欲しい	
東中学校	14,637冊	115.7%	15日	120冊	・10分間の朝読書 ・ポップ作り ・本の貸出(週3回)	①団体貸出を申し込んだ際、本の貸出、返却の運搬があると助かる ②貸出と整理をお願いしたい	
西中学校	14,282冊	148.0%	15日	290冊	・図書委員が図書を10冊ずつ借りて、それをコンテナで回す活動 ・読書手帳の活用 ・生徒会役員による啓発		
北中学校	8,165冊	110.0%	0日	0冊	・令和3年度は新型コロナウイルス感染予防のため閉室	①継続して団体貸出を利用したい ②図書室の運営方法等についてのアドバイスが欲しい ③新型コロナウイルス感染状況を見ながら判断したい	

小学校では朝の10分程度、読書時間を設け、読書の習慣化が図られています。学校図書室の蔵書数と在校児童数との割合で示される図書標準については、概ね100%を上回っています。

保護者が学校図書室とは別に管理している文庫があり、読書環境が補われている学校もあります。

読書活動については、小学校では全ての学校で読み聞かせを行っています。

東金図書館との連携に関しては、学校図書室の整備についての協力やアドバイスが多く求められています。今後、月2回各学校へ訪問している移動図書館を利用して学校側の要請に応えることも考えられます。



Ⅱ. 児童施設等の読書活動に係るアンケートの結果

施設名	令和3年度蔵書について			読書活動への取り組み ※移動図書館は児童館 以外の施設に月1~2 回巡回	東金図書館との連携に関 する要望 ①資料の貸出 ②施設への訪問 ③図書館見学	図書ボランテ ィア活用状況 ①読み聞かせ 等読書活動支 援 ②その他
	年度末 蔵書冊数	本の貸出	貸出冊数			
東金幼稚園	1,798 冊	なし		・絵本コーナーの設置 ・毎日1回は絵本の読 み聞かせを実施	③令和3年度に園外保育 の一環で実施し、今後も 機会があれば実施したい	①なし
城西幼稚園	500 冊	なし		・降園時にクラス全体 に向けた読み聞かせを 毎日実施 ・自由にクラスの蔵書 を読むことができる 「好きな遊びをする時 間」の実施		①なし
丘山幼稚園	1,800 冊	なし		・毎日、降園時等で読 み聞かせを実施 ・園児が自分で好きな 絵本を選べる機会にな るよう、移動図書館を 利用		①なし

施設名	令和3年度蔵書について			読書活動への取り組み ※移動図書館は児童館 以外の施設に月1~2 回巡回	東金図書館との連携に関 する要望 ①資料の貸出 ②施設への訪問 ③図書館見学	図書ボランテ ィア活用状況 ①読み聞かせ 等読書活動支 援 ②その他
	年度末 蔵書冊数	本の貸出	貸出冊数			
正気幼稚園	400冊	なし		・降園時等の読み聞かせ		①なし
公平幼稚園	600冊	なし		・絵本を自由に手に取り 見ることができるような 保育の実施 ・担任による1日1度 の読み聞かせを実施	①行事の際に大型絵本等 の貸出を受けたい ②継続して移動図書館の 巡回をお願いしたい	①なし
嶺南幼稚園	800冊	なし		・毎日、降園時の活動 で読み聞かせを実施	②図書館を訪問し、本を 借りたり、お話しサーク ルの方に読み聞かせをお 願いしたい	①あり
大和幼稚園	500冊	なし		・降園時の活動で読み 聞かせを実施	②継続して移動図書館の 巡回をお願いしたい	①なし
第1保育所	699冊	あり	700冊	・子どもがいつでも手 に取れる場所に絵本コ ーナーを設置 ・1日の生活の中で必 ず絵本の読み聞かせを する時間を設定 ・保育所の絵本を月1 回家庭へ貸し出すこと を実施	③年長児を対象に図書館 へ行き、たくさんの本に 触れる機会を持ちたい	①なし
第2保育所	750冊	あり	900冊	・毎月1冊、絵本の購 入をしてもらい、家庭 においても絵本の読み 聞かせを実施 ・毎月、保育所文庫と 称した絵本の貸出を実 施 ・保育の中で1日1冊 を目安に読み聞かせを 実施	②継続して移動図書館の 巡回をお願いしたい	①なし
第3保育所	735冊	あり	594冊	・毎日、絵本等の読み 聞かせを実施		①なし
豊成こども園 (新型コロナウイルス 感染予防のため貸出 中止中)	1,000冊	なし		・毎日、絵本・紙芝居 等の読み聞かせを実施	②継続して移動図書館の 巡回をお願いしたい	①なし
福岡こども園	570冊	あり	600冊	・地域のNPO法人お ひさま文庫より絵本を 借り、絵本コーナーに 置き、自由に手に取っ て好きな時に読める環 境を設定 ・各クラスで担当保育 教諭による読み聞かせ を毎日実施	③年長児の園外活動で利 用したい	①なし

施設名	令和3年度蔵書について			読書活動への取り組み ※移動図書館は児童館 以外の施設に月1～2 回巡回	東金図書館との連携に関 する要望 ①資料の貸出 ②施設への訪問 ③図書館見学	図書ボランティア活用状況 ①読み聞かせ 等読書活動支 援 ②その他
	年度末 蔵書冊数	本の貸出	貸出冊数			
児童館	537冊	なし		・児童館内に図書室を 設け、読書を楽しん でもらっていたが、新 型コロナウイルス感染 予防のため令和2年2 月末から現在に至る まで利用を中止 ・毎日わくわくタイ ムを実施 ・おはなしタイムは 新型コロナウイルス感 染予防のため休止中	①毎月20冊程度の団 体貸出を受けており、 今後も継続して借り 受けたい	①なし

各施設において読み聞かせ等は実施されていますが、本の貸出は、幼稚園で行っていない状況です。これは幼稚園と保育所の保育では、元来双方の方針の違いがあることから生じています。

この件のすべての施設での実施については、今後幼保一元化を進めるにあたり、園児が均等に本に親しむ機会を提供する必要があります。

また、ボランティアの活用については1施設と少なくなっているため、この件も推進していく必要があります。

Ⅲ. 子どもの読書に関するアンケートの結果

① あなたは、本を読むことが好きですか？

「好き」、「どちらかといえば好き」の回答を併せると全体で84.2%と8割以上となりますが、中学生が若干、「好き」と答えた割合が少なくなっています。

単位：%

	小学生計	中学生計	総計
1 好き	52.7	39.9	48.7
2 どちらかといえば好き	33.1	40.7	35.5
3 どちらかといえばきらい	9.4	15.0	11.1
4 きらい	4.8	4.4	4.7
無回答	0.0	0.0	0.0
計	100.0	100.0	100.0

② あなたが本を読むのは、どうしてですか？

本を読む理由は、「おもしろいから、楽しいから」、「ためになるから」を併せて全体で79.8%と8割近くを占めています。

その他では、小学生で「調べものがあるから」、中学生では「先生や家の人に本を読みなさいと言われるから」が若干多い回答となっています。

全体的には他人からの影響ではなく自発的に本を読むという回答が多い傾向となります。

単位：%

	小学生計	中学生計	総計
1 おもしろいから、楽しいから	64.4	62.1	63.7
2 ためになるから	15.1	18.4	16.1
3 友だちが読むから	3.9	2.1	3.3
4 先生や家の人に本を読みなさいと言われるから	4.2	8.7	5.6
5 本を読むと先生や家の人からほめられるから	2.1	0.1	1.5
6 調べものがあるから	6.3	3.1	5.3
7 その他	3.8	5.5	4.3
無回答	0.2	0.0	0.1
計	100.0	100.0	100.0

③ あなたは、どこで本を読んでいますか？（複数回答可）

本を読む場所は、小中学生ともに「自分の家や友達の家」、「教室」の回答が全体で85.2%と多くなっています。傾向として小学生は「自分の家や友達の家」が最も多く、中学生は「教室」が最も多くなっているのが特徴です。

単位：%

	小学生計	中学生計	総計
1 自分の家や友だちの家	45.0	31.7	40.9
2 学校の図書室	15.0	1.0	10.6
3 教室	34.5	65.8	44.3
4 図書館	3.0	0.5	2.2
5 その他	1.9	0.9	1.6
無回答	0.6	0.0	0.4
計	100.0	100.0	100.0

④ 先月（5月）1ヶ月のあいだに、朝（帰り）の読書の時間以外に本を何冊読みましたか？

1ヶ月間に読んだ本の数は、小学生が「2冊～4冊」が最も多く、中学生は「0冊～1冊」が最も多くなっています。

月に1冊、あるいは読書をしない割合は、中学生は小学生より非常に多い割合になっており、5冊以上読む子どもは小学生の3分の1以下の割合となっています。

単位：％

	小学生計	中学生計	総計
1 0冊～1冊	30.4	52.7	37.4
2 2冊～4冊	39.1	38.4	38.9
3 5冊～9冊	15.1	5.8	12.2
4 10冊上	14.7	3.1	11.1
無回答	0.6	0.0	0.4
計	100.0	100.0	100.0

⑤ ④で「0冊～1冊」と答えた人だけ教えてください。本を読まなかったのはなぜですか？

「0冊～1冊」と答えた本を読まなかった子どもの理由として、「本を読む時間がないから」が小中学生ともに半数近くと最も多くなっています。

次に「読みたい本がないから」が小中学生ともに多いことから、興味を持っている本の傾向を把握し、その分野の本の紹介や、それに対応する書籍の配架も必要と考えられます。

単位：％

	小学生計	中学生計	総計
1 本を読む時間がないから	47.2	45.2	46.3
2 本を読むのがきらいだから	14.8	14.7	14.8
3 読みたい本がないから	34.4	28.4	31.7
4 その他	3.7	11.3	7.1
無回答	0.0	0.4	0.2
計	100.0	100.0	100.0

⑥ ⑤で「本を読む時間がないから」と答えた人だけ 教えてください。なぜ、本を読む時間がなかったのですか？（複数回答可）

「本を読む時間がないから」と答えた理由として、「勉強（塾や宿題）があるから」が最も多く、次に「部活動やおけいこごとがあるから」、「ゲームをしたりテレビを見るから」となっていますが、全体的には勉強や部活動等のため本を読む時間がないとの回答が多く全体の7割を超えています。

単位：％

	小学生計	中学生計	総 計
1 勉強（塾や宿題）があるから	40.7	48.0	43.8
2 部活動やおけいこごとがあるから	26.2	32.5	28.9
3 友だちと遊んでいるから	7.5	2.0	5.1
4 ゲームをしたりテレビを見るから	20.5	14.3	17.8
5 その他	4.5	2.8	3.8
無回答	0.6	0.4	0.5
計	100.0	100.0	100.0

⑦ あなたはどのような本を読みますか？

小中学生ともに「物語」が最も多くなっています。

小学生ではそのほかに「絵本」、「ゲームやクイズの本」、「図鑑」が多くなっています。また、中学生では「物語」が半数近くとなっていて、次いで「歴史の本」、「ゲームやクイズの本」、「スポーツの本」が多くなっています。

単位：％

	小学生計	中学生計	総 計
1 物語	27.2	48.5	34.2
2 伝記	3.7	5.6	4.3
3 歴史の本	7.5	9.8	8.3
4 理科の本	7.0	3.9	6.0
5 スポーツの本	6.4	8.5	7.1
6 図鑑	14.2	5.0	11.2
7 絵本	16.3	5.0	12.6
8 ゲームやクイズの本	14.8	8.9	12.8
9 その他	2.2	4.7	3.1
無回答	0.6	0.1	0.5
計	100.0	100.0	100.0

⑧ あなたは、小さい頃、家の人から本を読んでもらったことがありますか？

家の人から本を「よく読んでもらった」は全体の 37.5%でした。一方、「読んでもらえなかった」は全体の 10.3%となっています。

「あまり読んでもらえなかった」も含め小さい頃に本を読んでもらったとの回答は約9割でした。

単位：%

	小学生計	中学生計	総計
1 よく読んでもらった	39.1	34.1	37.5
2 ときどき読んでもらった	37.7	41.8	39.0
3 あまり読んでもらえなかった	11.2	12.1	11.5
4 読んでもらえなかった	10.5	9.8	10.3
無回答	1.5	2.2	1.7
計	100.0	100.0	100.0

⑨ 家族で読書の好きな人はいますか？ *質問は中学生のみ

家族の中で読書の好きな人が「いる」が 57.6%と若干多い回答となっています。

単位：%

	中学生計
1 いる	57.6
2 いない	39.5
無回答	2.9
計	100.0



⑩ 先月（５月）１ヶ月の間に、何回学校の図書室にいきましたか？

小学生では「１回から３回」が39.7%と一番多く、一方で「０回」が26.0%と４分の１以上が利用していませんでした。

中学生では「０回」の79.7%が最も多く、１度も利用しない生徒が８割近くとなっています。

単位：％

	小学生計	中学生計	総計
1 0回	26.0	79.7	42.8
2 1回から3回	39.7	14.7	31.9
3 3回から5回	21.3	4.1	15.9
4 6回以上	12.0	1.4	8.7
無回答	0.9	0.1	0.7
計	100.0	100.0	100.0

⑪ あなたは、学校の図書室を主にどんなときに利用しますか？

小学生では「朝、昼休み」、「授業中」が多くなっています。

中学生では「ほとんど利用しない」が73.8%と7割を超えていますが、利用する生徒は「朝、昼休み」13.6%と一番多く、次いで「授業中」、「放課後」となっています。

単位：％

	小学生計	中学生計	総計
1 授業中	25.7	5.3	19.3
2 朝、昼休み	44.1	13.6	34.6
3 放課後	1.0	5.2	2.3
4 そのほかの時間	7.2	1.7	5.5
5 ほとんど利用しない	21.0	73.8	37.5
無回答	1.0	0.4	0.8
計	100.0	100.0	100.0



⑫ 先月（5月）1ヶ月のあいだに、何回図書館に行きましたか？

「0回」と図書館に行かなかったとの回答が、小学生で59.2%、中学生で83.4%、全体で66.8%となっています。

一方、1回以上行ったとの回答は全体で32.6%となっています。小学生は39.9%、中学生は16.5%と小学生の方が多く、中学生は小学生の半分以下の割合となっています。

単位：%

	小学生計	中学生計	総計
1 0回	59.2	83.4	66.8
2 1回から3回	23.0	12.2	19.6
3 3回から5回	9.6	3.0	7.5
4 6回以上	7.3	1.3	5.5
無回答	0.9	0.0	0.6
計	100.0	100.0	100.0

⑬ 先月（5月）読んだ本のなかで、図書館や移動図書館で借りた本は何冊ありましたか？

小学生では東金図書館や移動図書館で1冊以上借りた児童は48.0%と多いものの、中学生では移動図書館では貸し出しを行わないこともあり、1冊も本を借りていない生徒が88.8%と9割近くとなっています。

単位：%

	小学生計	中学生計	総計
1 0冊	50.9	88.8	62.8
2 1冊～4冊	31.9	9.1	24.8
3 5冊～9冊	8.7	1.2	6.3
4 10冊以上	7.5	0.9	5.4
無回答	1.0	0.0	0.7
計	100.0	100.0	100.0

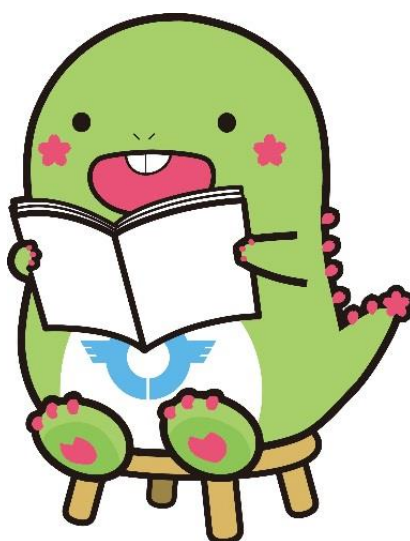
⑭ 学校の図書室や図書館にどのような本があればいいと思いますか。

小中ともに「物語」が一番多くなっています。次いで、小学生は「図鑑」「絵本」、
「ゲームやクイズの本」が多く、中学生では「歴史の本」、「スポーツの本」、「ゲーム
やクイズの本」が多くなっています。

全体的には、回答数は違うものの、アンケートの「(7) あなたはどのような本を読
みますか?」の回答と同様の傾向となっています。

単位：%

	小学生計	中学生計	総計
1 物語	19.5	31.7	23.0
2 伝記	6.2	7.3	6.5
3 歴史の本	10.0	13.2	10.9
4 理科の本	9.4	7.7	8.9
5 スポーツの本	9.1	11.8	9.8
6 図鑑	13.0	8.0	11.6
7 絵本	11.5	5.5	9.8
8 ゲームやクイズの本	18.4	11.8	16.5
9 その他	2.4	2.6	2.5
無回答	0.4	0.3	0.4
計	100.0	100.0	100.0



(2) 現状と課題

①現状

第1次計画の期間中図書館運営においては、新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年～3年度は一時閉館や午後7時までの開館延長の中止及び各種事業の中止等をやむを得ずいたしました。現在は通常通り実施しているところではありますが、特にこの期間中の乳幼児に対する事業の中止については今後の影響が心配されます。また、学校等に対して行ったアンケートにおいても、図書室を閉室した学校があるといった結果となりました。

小学校・中学校の児童・生徒に関するアンケートにおいては、本を読むことが「好き」、「どちらかといえば好き」の回答を併せると全体で84.2%と8割以上となりますが、中学生が若干、「好き」と答えた子どもの割合が少なくなっています。

一方、1ヶ月間に読んだ本の冊数で「0から1冊」が小学生で30.4%、中学生で52.7%と中学生は読書の機会が少なくなっています。この小中学生併せた回答者の46.3%が「本を読む時間がないから」と回答し、更に理由として勉強や部活動等と回答しています。

②課題

策定にあたり、次のような問題点を現状における課題ととらえ、計画を推進してまいります。

- ・アンケートで本を読むことが「好き」「どちらかといえば好き」と答えた割合が全体で84.2%であることに対し、1ヶ月に読んだ本が「0冊～1冊」の割合は37.4%となっていることから、読書活動を充実させるためには、読書の機会を増加させる方策が必要です。
- ・アンケートで1ヶ月に読んだ本が「0冊～1冊」のうちその理由が「読みたい本がないから」と答えた割合が31.7%と多いことから、同アンケートの中のよく読む本やあればよい本を参考に蔵書の充実を図る必要があります。
- ・アンケートで「1ヶ月に何回図書室にいきましたか」の回答で中学生の8割近くが0回であったことから、中学校の図書室の利用拡充や蔵書の充実が必要です。
- ・新型コロナウイルス感染症の影響により、中止していた乳幼児期の事業を令和4年度に人数制限等を行い再開はしましたが参加者は少数のままです。この時期の子どもに対する読み聞かせや本に親しむ事業は重要であることから、参加者の拡充等の方策が必要です。
- ・中学生は読書の機会が少なくなる傾向があることから、中学生への本に関する情報提供や、学校図書室の利用促進等の方策が必要です。

第2章 第2次推進計画における取り組み

1. 計画の基本方針

国の子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画（第四次）では、基本方針の中で、読書習慣の形成を一層効果的に図る必要性と、読書の関心度合いが上がるような取り組みを推進する必要性が謳われています。また、千葉県子どもの読書活動推進計画（第四次）では、「社会全体における子どもの読書への関心を高める取組の推進」「読書環境の整備と連携体制の構築」の二つを基本方針とし、子どもの読書活動の推進を図っているところです。

本市では、これらの計画を踏まえつつ、東金市子どもの読書活動推進計画（第一次）で掲げた以下の3つの方針を継承し、本計画の基本方針として次の3項目を掲げることとします。

- (1) 家庭・地域・学校を通じた子どもが読書に親しむ機会の提供と充実
- (2) 子どもの読書活動を支える環境の整備・充実
- (3) 子どもの読書活動に関する理解と関心の普及

(1) 家庭・地域・学校を通じた子どもが読書に親しむ機会の提供と充実

幼いときは家庭においては家族から、幼稚園や保育所・小学校へ通うようになると先生や保育士、地域によってはボランティアの方の読み聞かせにより、本に対する興味を育てていきます。中学生以上になると自主的に読書活動を行う年代になり、読書を通じた交友関係も生まれていきます。

このように、子どもは各年齢に応じた読書活動に対するアプローチを家庭・地域・学校から受けて育っていきます。

そのため、充実した読書活動を将来にわたって継続していくためには、子ども読書活動の重要性を理解した上で、家庭・地域・学校それぞれが読書に親しむ機会の提供と充実に取り組んでいくことが必要です。

(2) 子どもの読書活動を支える環境の整備・充実

子どもたちの読書活動を推進するためには、読書活動を行うことのできる環境の整備・充実を、市全体で図ることが肝要です。

いつでも、自分の興味のある書籍を見つけることができる環境、また、どんな書籍に興味があるのかを自分で探しに行くことができる環境、そういった環境を整えることで、子どもたちの読書活動に対する意欲を一層増進させることができます。

東金図書館は、更なる蔵書の充実、イベントの実施、その他多彩なサービスを通して、子どもたちが充実した読書活動を行えるよう、子ども目線の利用のしやすさを考慮した運営をすることが必要です。

また、学校や幼稚園、保育所等においても、子どもたちが読書に対する意欲が湧くように、東金図書館と連携して、蔵書の充実などを図るとともに、更には、地区コミュニティセンターの図書コーナーなどの活用も含め、様々な場所で、子どもたちが本に親しむことのできる環境の整備をしていくことも重要なことです。

(3) 子どもの読書活動に関する理解と関心の普及

国の「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」において、毎年4月23日は子ども読書の日と定めています。子どもの読書活動を推進していくためには、社会全体がその重要度を理解し、行動に移すことが必要と考えます。

この日を中心に子どもの読書活動を推進するイベントを行うことなども、社会全体で子どもの読書活動の大切さを理解できることに繋がっていきます。

また、読み聞かせなどのイベントの実施だけでなく、テーマを決めたコーナーの設置、子供向けの新刊本の紹介など様々なことを複合的に通年で行うことで、子どもの読書活動への理解と関心の度合いを深めていくことが必要です。

2. 計画の期間及び対象

本計画の期間は、令和5年度から令和9年度の5ヵ年とし、対象者は、0歳からおおむね18歳までとします。

3. SDGsへの取り組み

本市のまちづくりの羅針盤である東金市第4次総合計画において、SDGsの目指す持続可能なまちづくりを進めていく視点で、施策を推進していくこととしていることから、次の目標を意識して本計画を推進します。

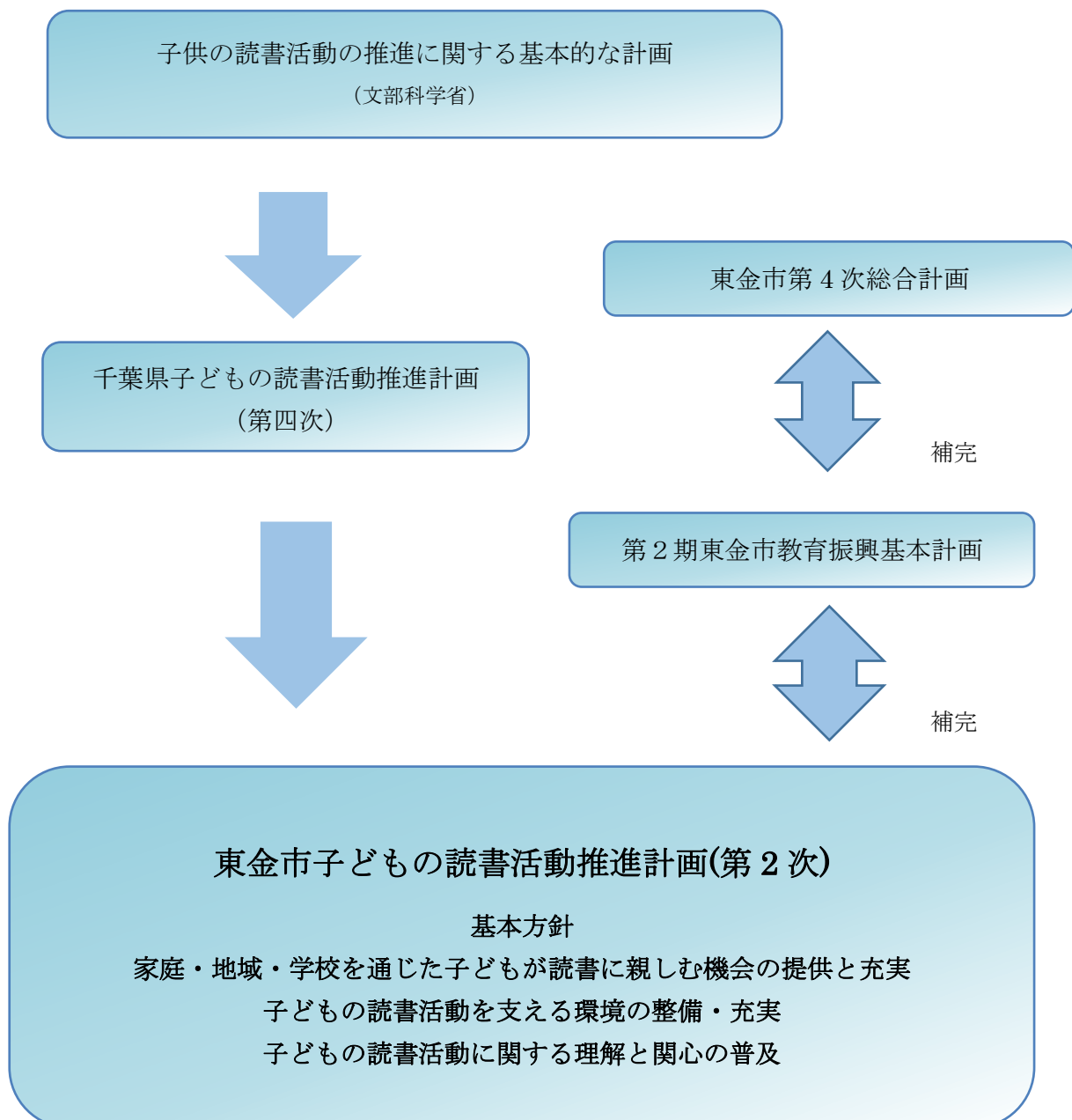


※ 2015年9月の国連サミットで採択された2030年までを期限とする国際目標。持続可能な社会実現のため、産業やエネルギー、福祉、教育、平和などそれぞれの分野で達成すべき17の目標が掲げられている。

4. 感染症等への対応

本計画推進に際し、第1次計画中に影響を受けた新型コロナウイルス感染症への対応をふまえ、期間中の事業実施については、感染症等の対策を十分に行います。また、必要がある場合には中止、縮小などを行います。

5. 計画の位置づけ（イメージ図）



6. 子どもの読書活動推進のための具体的な取り組み

(1) 家庭・地域・学校を通じた子どもが読書に親しむ機会の提供と充実

① 家庭における読書活動等の充実

(ア) 家庭読書「家読」(うちどく)の推進

・家族みんなで読書をすることで家族のコミュニケーションを深めることを目的とした読書活動「家読」を推進するため、図書館などに「家読」の推薦図書コーナーを設置するとともに、「家読」を広めるための周知活動を行います。

(イ) ブックスタート事業の推進

・家庭でのコミュニケーションのツールとして、乳児期において絵本での読み聞かせが行われるように、ブックスタート事業を実施します。

② 地域における子どもの読書活動等の充実

(ア) 地区コミュニティセンター図書コーナーにおける児童書の充実

・子どもたちが、地区コミュニティセンターを利用した読書活動ができるよう、リユース本などを活用し、図書コーナーの児童書の充実を図ります。

(イ) 地域における読み聞かせを行う人材の育成

・各地域の小学校等施設の一部で実施している、ボランティアによる読み聞かせについて、この事業の推進・拡大が図れるよう、読み聞かせ講座を開催しボランティアの育成を図ります。

(ウ) 城西国際大学との連携

・市内の城西国際大学では、31万冊を超える図書資料を所蔵する水田記念図書館を設置しています。この大学図書館を利用することで読書への興味を高めるため、利用方法などを周知します。

③ 学校等における読書活動等の充実

(ア) 読み聞かせの実施

・小学校において、地域のボランティアの協力を得ながら、読み聞かせを実施します。

・幼稚園、保育所、こども園において、子どもたちの発達段階に応じた図書教材を活用し、読み聞かせを実施します。

(イ) 移動図書館巡回の充実

・小学校、幼稚園、保育所、こども園を巡回する移動図書館について、東金図書館と各施設との調整を図りながら、月2回程度の巡回を実施します。

・移動図書館に積載する蔵書については、適宜入れ替えを行うことで、子どもたちの本への関心の向上を図ります。

(ウ)一斉読書活動の推進

- ・小中学校において、子どもたちの一斉読書活動の時間を設けます。

(エ)学校図書室などの充実

- ・学校図書室の図書充足率を、全校100%となるよう努めます。
- ・東金図書館で実施する団体貸出などを利用して、学校図書室、幼稚園及び保育所等の蔵書の充実を図ります。

(オ)学童クラブにおける読書活動等の推進

- ・学童クラブにおいて、学校図書室の蔵書などを活用しながら、子どもたちの読書活動を推進します。

(カ)児童館における読書活動等の推進

- ・就学前児童とその保護者を対象として、毎日1回、絵本や紙芝居の読み聞かせなどを行う「わくわくタイム」を実施します。
- ・3、4歳児を対象とした読み聞かせを行う「おはなしタイム」を、平日1回実施します。

(キ)図書担当職員の研修の促進

- ・学校の図書担当職員の資質の向上のため、千葉県が行う研修会等に参加します。
- ・図書館司書を学校等に派遣し、本の修理、整理方法等の研修を実施します。

(2)子どもの読書活動を支える環境の整備・充実

①東金図書館における取組み

(ア)児童図書資料の整備

- ・図書館資料収集基準に基づき児童書を購入し、その充実に努めます。
- ・児童室の蔵書を充実するとともに、レイアウトを工夫して、楽しめる空間の創出に努めます。

(イ)リクエスト本の収集

- ・他の図書館からの借入、購入等により、100%リクエストに応えられるよう努めます。

(ウ)読書通帳の実施

- ・子どもの読書に対する意欲を向上させるため、読書通帳活動を推進します。

(エ)高校生に対する読書活動の啓発

- ・高校生の読書への関心を高めるため、「Teen's (ティーンズ) 通信」を市内高等学校の学校図書室に配布します。

(オ)子ども読書の日を中心としたイベントの実施

・毎年4月23日の子ども読書の日を中心とした日程でイベントを実施することで、子どもの読書活動への関心を高めます。

(カ)長期休暇中の読書活動の啓発

・小学校・中学校全学年向けに「夏休みにすすめる本」のリストを作成し、配布します。

(キ)対象年齢を明確にした図書館事業の実施

開催月	事業名	対象等	内容
4～3月 全12回	親子ふれあい絵本運動 (ブックスタート)	4カ月相談	地域に生まれた全ての赤ちゃんと保護者にメッセージを伝えながら絵本を手渡す
4～3月 全12回	赤ちゃんと楽しむ絵本とわらべうたの会	0～1歳 保護者	絵本の読み聞かせとわらべうたで遊ぶ
7月	としょかんこどもフェスタ	3～9歳	手作り絵本・工作遊び・おはなし会など
7～8月 全10回	一日図書館員	小学生	図書館業務のうちカウンター業務・図書の配架・図書の整理を体験
10～1月 全8回	親子で楽しむおはなし会	2～3歳 保護者	絵本の読み聞かせ・手遊び・絵本の紹介
11月	ぬいぐるみおとまりかい	小学生以下	おはなし会・図書館内で撮影したぬいぐるみの写真をアルバムにしてプレゼント
11月	青空おはなし会	全年齢	屋外で大型絵本の読み聞かせや紙芝居の上演
12月	ふゆのおたのしみ会	小学生以下	人形劇などの実施
12月	本のおたのしみ袋	0～12歳	小学生(高学年・中学年・低学年)・幼児・乳児向け3冊を1セットとし福袋として貸出
4～3月 毎週土曜	おはなし会	小学生以下	絵本の読み聞かせ・紙芝居。小学生以下対象

②学校における取組み

(ア)優良図書館認定の推進

・優良図書館の認定について、全ての学校が優良図書館の認定を受けられるよう、学校図書室の質の向上を図ります。
・学校図書館図書標準100%以上となるよう蔵書の充実を図ります。

(イ)学校図書室と東金図書館との連携

・東金図書館と学校図書室の人的連携を図り、学校図書室の蔵書の陳列、図書の選定等について支援します。また、調べ学習等に対するレファレンスの対応も図ります。
・学校図書室の蔵書について、すべての学校の蔵書をデータベース化します。また、東金図書館の蔵書管理システムと連携した、相互の貸借などの実施につ

いて検討を進めます。

- ・東金図書館では、学校図書室に対し司書による本の配置やレイアウト・図書の選定等の協力を行うサービスをはじめとして、授業や学習で使う図書や学級文庫への貸出、学校訪問、図書館見学など学校に対するさまざまなサービスを行います。

- ・学校図書室を充実させるため、学校支援ボランティアを募ります。

(3) 子どもの読書活動に関する理解と関心の普及

①東金図書館の取り組み

(ア) 子どもの読書活動に係る市民の関わりの拡大

- ・Teen's 通信の発行に際して、掲載具材を市民から募集することなどにより、子どもの読書活動への理解と関心が高まるよう努めます。

(イ) ボランティアの募集

- ・東金図書館、学校図書室などへのボランティアの募集、参加を通して、子どもの読書活動の大切さの啓発に努めます。

(ウ) 活動推進の普及

- ・子どもの読書活動推進に係るチラシ等を作成、配布することで、理解と関心の普及に努めます。

- ・子どもの保護者、学校関係者の理解、関心を深めるため、小学1年生、中学1年生に対し、読書活動の推進を啓発するため、「読んでほしい本のリスト」を配布します。



7. 計画の実現に向けて

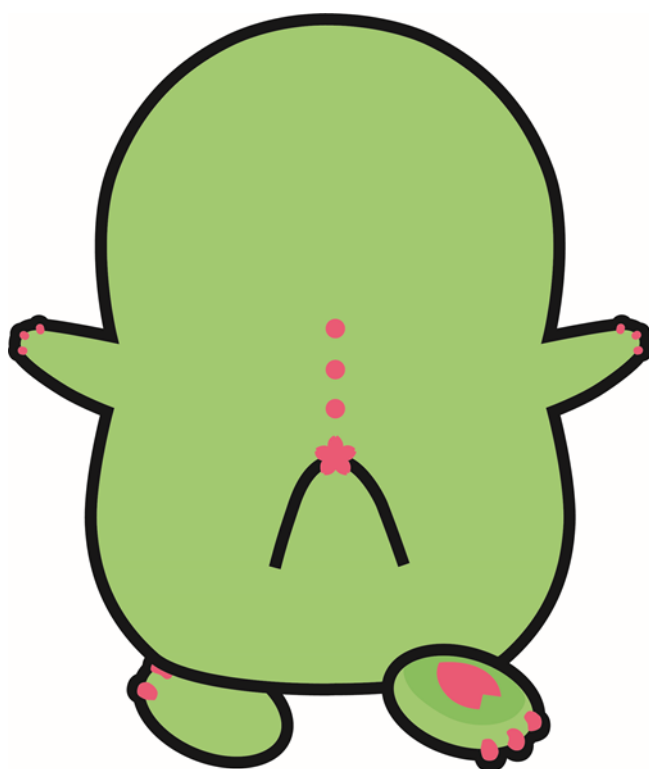
本計画の進捗管理について、東金市図書館協議会において年1回点検と評価を行い、必要に応じて計画の見直しを行います。

指標の設定

本計画に定めた施策や取り組みによる子どもの読書活動の進捗状況について、客観的に可視化するため、数値目標を以下に示し、評価・点検のための指標を設定します。

指標	現状値	目標値 (令和9年度)	推進機関 連携機関
学校図書館図書標準 100%	9/12校	100%	学校・学校教育課
学校司書・図書支援員の配置	2人	4人以上※	学校・学校教育課 図書館
「優良図書館」認定	11/12校	全校	学校
「本を読むことが好き」「どちらかといえば好き」と回答する子どもの割合	小学生 85.8% 中学生 80.6%	小学生 90% 中学生 85%	学校・図書館
1ヶ月の間に2冊以上本を読んだ子どもの割合	小学生 69.0% 中学生 47.3%	小学生 75% 中学生 55%	学校・図書館
児童図書年間貸出冊数	78,819冊	88,000冊	図書館

※中学校区に1人配置



東金市子どもの読書活動推進計画

発行 東金市教育委員会

編集 東金市立東金図書館

〒283-0068 千葉県東金市東岩崎1番地1

電話 0475-50-1190